



### 日本国際文化学会第12回全国大会プログラム

#### ご挨拶

2013年7月6日(土)、7日(日)の両日、日本国際文化学会2013年度第12回全国大会が、京都、西本願寺脇の龍谷大学大宮学舎において開催されます。龍谷大学での全国大会開催は、2002年の創立大会以来、11年ぶりのこととなりますが、今回は、2002年大会を開催した瀬田学舎ではなく、龍谷大学発祥（1639年、本願寺学寮の創設を起源とします）の地であり、その建物のほとんどが初期西洋建築として国の重要文化財に指定されている、風情豊かな大宮学舎に皆様をお迎えします。

学術的な内実においても、龍谷大学アフラシアセンターとの共催にかかるシンポジウム「非西洋型国際関係理論の可能性：京都学派との関係において」、フォーラム「『国際文化学』をどのように教えるか」を研究・教育の両輪として、これらを囲むように多岐多様な6点の共通論題、15点の自由論題が用意されており、きわめて充実した大会となることが予想されます。これらに加えて、龍谷大学国際文化学会との共催にかかる2つのワークショップ——祇園の女将をお呼びしての「祇園の所作」の実演講義と「二カ国語狂言」の上演——や、龍谷ミュージアム・西本願寺などへの見学ツアー、また龍谷大学茶道部学生によるお茶の点て出しサービスなどで、遠来のお客様を国際文化的小おもてなしする予定です。

多数の参加をお待ちしております。

第12回全国大会実行委員長 龍谷大学国際文化学部 佐々木英昭

- ・大会テーマ：「京都で国際文化学を考える」
- ・大会日程：2013年7月6日（土）～7日（日）
- ・大会会場：龍谷大学大宮キャンパス（京都市千代600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町125番地の1）  
アクセス：[http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus\\_traffic/traffic/t\\_omiya.html](http://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/traffic/t_omiya.html)

#### ・大会日程概要

7月6日（土）（1日目）	7月7日（日）（2日目）
8:30- 受付	8:30- 受付
10:30-11:30 自由論題[セッションA・B・C]	09:00-10:30 自由論題[セッションD・E・F]
12:00-13:00 ワークショップ1	<b>10:30-12:00 フォーラム</b>
13:00-15:00 共通論題1・2・3	12:30-13:30 総会
<b>15:00-17:00 シンポジウム</b>	13:30-15:30 共通論題4・5・6
17:15-18:00 ワークショップ2	15:30-17:30 龍谷大学大宮学舎・ミュージアム 見学ツアー
18:00-20:00 情報交換会	

\*会場等についてはホームページ（<http://www.jsics.org/>）をご参照ください。

#### ・第12回全国大会に関するお問い合わせ先

龍谷大学国際文化学部 日本国際文化学会第12回大会実行委員長 佐々木英昭

Tel/077-543-7637 e-mail:sasaki@world.ryukoku.ac.jp

・大会日程詳細

<7月6日(土):1日目>

**10:30-11:30 自由論題[セッションA・B・C]**

●セッションA

司会：白石さや（岡崎女子大学教授）

- 1) 井上浩子（学術振興会特別研究員）「平和構築論における文化—その重要性と問題点」
- 2) 櫻井 想（龍谷大学大学院国際文化学研究所博士後期課程）「国際文化学とオーラル・ヒストリーの接統一歴史叙述の試みとして」

●セッションB

司会：松居竜五（龍谷大学国際文化学部教授）

- 1) 山田 朋美（津田塾大学国際関係研究所研究員）「アイルランド人宣教師の中国認識の変遷」
- 2) シュミット・クラウディア（桃山学院大学文学研究科博士後期課程）「漫画における剣豪のジェンダー的表現—『バガボンド』と『風光る』の比較に基づいて」

●セッションC

司会：川村湊（法政大学国際文化学部教授）

- 1) 佐野 東生（龍谷大学国際文化学部教授）「シーア派イスラームにおけるアラー信仰」
- 2) 阪口 有美子（龍谷大学大学院国際文化学研究所修士課程）「日本古代の信仰にかかわる一考察」

**12:00-13:00 ワークショップ1「祇園の所作」**

講演・演舞者：田中泰子氏（祇園甲部「つる居」女将）

◎京都の五花街のうち最高の格式と伝統を誇る「祇園甲部」の女将をお迎えし、演舞を実演していただきながら、祇園花街の起源や成り立ちから、芸妓さん・舞妓さんの所作・振付・着物・髪型やその日常、舞妓さんへの教育方法まで、「祇園」という伝統文化の実情をお話いただきます。

**13:00-15:00 共通論題〔1・2・3〕**

●共通論題1「北方先住民族の過去・現在、そして未来」

司会：井出晃憲（文教大学国際学部非常勤講師）

報告者：藤原潤子（総合地球環境学研究所プロジェクト上級研究員）

齋藤君子（口承文芸研究者）

佐々木史郎（国立民族学博物館教授）

●共通論題2「日本の文化における超自然的な事物の表象—物の怪、幽霊、怪異を中心に」

司会：鈴木裕輔（法政大学国際日本学研究所客員学術研究員）

報告者：ティタニラ・マートライ（早稲田大学坪内博士記念演劇博物館研究員）

マガリ・ビューニュ（ストラスブール大学博士候補生）

ヘレナ・ガウデコヴァ（ナールステック・アジア、アフリカ、アメリカ民族文化博物館学芸員）

●共通論題3「俳句の国際化と『非西洋』の拠点としての俳句」

司会：佐々木英昭（龍谷大学国際文化学部教授）

報告者：コリーヌ・アトラン（作家、翻訳家）

スティーヴン・ウルフ（龍谷大学国際文化学部教授）

バー・ボルドー（富川力道）（日本ウェルネススポーツ大学スポーツプロモーション学部准教授）

**15:00-17:00 シンポジウム「非西洋型国際関係理論の可能性—京都学派との関係において」**

モデレーター：瀧口順也（龍谷大学国際文化学部講師）

パネリスト： クリスチアン・ウル（ゲント大学東南アジア言語文化学部教授）

石之瑜（台湾国立大学政治学部教授）

川村覚文（東京大学 共生のための国際哲学研究センター特任研究員）

清水耕介（龍谷大学国際文化学部教授、アフラシア多文化社会研究センター長）

討論者：ジョルジオ・シャーニー（国際基督教大学政治学部教授）

陳慶昌（立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部准教授）

**17:15-18:00 ワークショップ2「ニカ国語狂言」**

◎大蔵流狂言師の茂山あきら氏と米国出身の演出家・俳優にして龍谷大学国際文化学部教授でもあるジョナ・サルズ氏が1981年に結成し、爾来30年にわたって国際文化的な活動を続けてきた「能法劇団」がニカ国語狂言を本館前（野外）にて上演します。

◎演目：「<sup>すた</sup>濯ぎ川」（フランスのファルス、“Le Cuvier”の茂山氏による狂言化）

**18:00-20:00 情報交換会**

<7月7日(日) (2日目) >

**9:00-10:30 自由論題[セッションD・E・F]**

●セッションD

司会：若林 一平（文教大学国際学部名誉教授）

- 1) 鴻 鵬（名城大学法学研究科博士後期課程）「元関東軍作戦主任参謀遠藤三郎と熱河作戦—「遠藤日誌」を中心に」
- 2) 小野 百合子（一橋大学社会学研究科特任講師）「奄美における『日本復帰運動』と『沖縄返還運動』—奄美／沖縄／日本」
- 3) 奥田 孝晴（文教大学国際学部教授）「『東アジア共同体への道』研究—戦争責任・戦後処理責任問題における日独比較からの再構成」

●セッションE

司会：岡 眞理子（青山学院大学総合文化政策学部教授）

- 1) 越智 淳子（早稲田大学アジア・北米研究所、日韓グローバル研究所招聘研究員）「日本人論の盛衰と近代化論との関係、その行方」
- 2) 芝崎 厚士（駒沢大学グローバル・メディア・スタディーズ学部准教授）「近現代日本における対外文化政策思想の形成と展開—戦前・戦後・冷戦後」
- 3) 山田 直子（成蹊大学卒業生）「1978年の日中文化交流—小澤の中国公演を事例に」

●セッションF

司会：斉藤 文彦（龍谷大学国際文化学部教授）

- 1) 大形 利之（東海大学国際文化学部教授）「インドネシアのテロリズム—イスラーム過激派からテロリストへの変節に関する考察」
- 2) 鍋島 孝子（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授）「JST-JICA プロジェクト：アフリカ農民がコンポスト・トイレを受け入れるまで」
- 3) 山本 菜衣子（名桜大学大学院国際文化研究科修士課程）「ジェイチーニョ・ブラジレイロ ブラジル人の問題解決法—パラナ州ロンドリーナ市を事例として」

**10:30-12:00 フォーラム 『国際文化学』をどのように教えるか**

コーディネーター：松居竜五（龍谷大学国際文化学部教授）

発話者：権 五定（龍谷大学国際文化学部特任教授）

浅羽祐樹（山口県立大学准教授）

鈴木 靖（法政大学教授）

**12:30-13:30 総会**

**13:30-15:30 共通論題 [4・5・6]**

●共通論題4「岐路に立つ多文化主義—理論的・実証的再検討」

司会：川村陶子（成蹊大学准教授）

報告者：白川 俊介（日本学術振興会特別研究員）

加藤恵美（早稲田大学日欧研究機構研究助手）

森敦嗣（九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程）

●共通論題5「グローバル社会における異文化調整と通訳翻訳」

司会：鳥飼玖美子（立教大学異文化コミュニケーション研究科特任教授）

報告者：水野真木子（金城学院大学教授）

内藤稔（東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター特任講師）

山本一晴（大阪 YMCA 学院日本語学科非常勤講師）

坪井睦子（立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科特任准教授）

中村幸子（愛知学院大学准教授）

●共通論題6「東アジアの教育における文化と政治」

司会：堤 ひろゆき（東京大学大学院教育学研究科博士課程）

報告者：李 スルビ（東京大学大学院教育学研究科博士課程）

井田 頼子（東京大学大学院教育学研究科博士課程）

高松 拓哉（東京大学大学院教育学研究科修士課程）

韓 炫精（東京大学大学院教育学研究科博士課程）

**15:30-17:30 見学ツアー**

◎龍谷大学大宮学舎本館（一階応接室、二階礼拝堂、貴賓室など）、西本願寺（勅使門、本堂など）、龍谷ミュージアムなどへご案内します。案内役：嵩満也（龍谷大学国際文化学部教授）、福山泰子（龍谷大学国際文化学部准教授）ほか

**・大会参加費用**

《大会参加費》 一般会員 2000 円（当日 2500 円） 一般非会員 3000 円（当日 3500 円）

院生・学生 1000 円（当日 1500 円）

《情報交換会》 一般 4000 円（当日 5000 円） 院生・学生 2000 円（当日 2500 円）

《お弁当（お茶つき）》 7月6日 1000 円 7月7日 1000 円

\*平成25年6月20日（木）までにお振込みいただいた場合は事前割引があります。

\*郵便局の振込用紙に、上記の振込金額内訳を通信欄にお書きの上、下記振込先までお願いいたします。

01390-1-89396 日本国際文化学会

\*会員の方は5月20日前後にお届けするニューズレター第24号に振り替え用紙を同封いたします。